

「いい男になれ」
選手に情熱を注ぎたい

新監督に聞く

県高校野球を牽引する強豪校に
この春新監督が就任。
新体制発足間もない夏本番に向かう。

千葉経済大学附属高校 森 博幸 新監督 (元 西武ライオンズ)

江戸川大学 × yellsports 千葉
EDOGAWA UNIVERSITY

企画・取材・文 江戸川大学「yell sports 制作チーム」

江戸川大学下記ゼミ所属の学生たちが「yell sports 千葉」で企画・取材・文を担当する連載企画。
社会学部 現代社会学科 レジャー・スポーツマネジメントコース 広岡熱ゼミ
社会学部 経営社会学科 スポーツビジネスコース 小林至ゼミ
メディアコミュニケーション学部 マス・コミュニケーション学科 ジャーナリズムコース



プロフィール ● 森 博幸（もり・ひろゆき）1963年（昭38）5月29日生まれ、福岡県出身の56歳。小倉工、新日鉄君津を経て85年ドラフト4位で西武入団。通算374試合に出場して打率・275、15本塁打、80打点を記録し、チームの黄金期を支えた。97年限りで引退後は四国アイランドリーグや西武のコーチを歴任。14年秋から3年間は千葉経済大学附属高校で臨時コーチを務めた。左投げ左打ち。

——プロでも活躍された森監督が高校生に伝えたいことは何ですか？
森 選手である前に高校生。学校生活をどういうふうに送

——プロでの経験は、高校生の指導にどう生きますか？
森 プロ野球はやはり最高峰。プロの練習をそのまま教えられるというものではない。基本練習を中心にやらないといけない。私は2軍のコーチもやらせてもらったんですが、2軍の選手にはキャンプでも基本的

——今後の夢を聞かせてください。
森 私はもう56歳を過ぎていますので、極端に言えば残りの人生を懸けて来ているわけで。甲子園に子どもたちを連れて行きたいとは思いますが。でも簡単なことではないのも分かっています。現状はね。ただ、高校野球で終わるわけではないので。野球をやる子、やらない子も出てくると思いますけど、社会に出たときに、『いい男』になってもいいと思います。人間的に成長してもらいたい。そのために、情熱を込めて指導していきたいと思っています

——監督就任の経緯は？
森 去年の年末くらいに学校の方から、お話をいただきました。今から1年半前まで臨時コーチをやらせてもらったんです。3年ほど。（チームの指導を）ずっとやっている中での話ではないので、ビックリしましたね。

——指導に際しての理念などは？
森 臨時コーチはバッティングだけを教えられる、という部分がありましたが、監督となると、日頃の高校生活も含めて（指導を）やらなければいけない。本当に大変だと最初から思っていました。その大変さを身に染みているところです。私が自慢できると言ったらおかしいけど、情熱と根気ですかね。根気がないと「こんなことも教えないといけないの？」というのがいつばいあるんですよ。でもそれは、絶対あきらめてはいけな

森 臨時コーチはバッティングだけを教えられる、という部分がありましたが、監督となると、日頃の高校生活も含めて（指導を）やらなければいけない。本当に大変だと最初から思っていました。その大変さを身に染みているところです。私が自慢できると言ったらおかしいけど、情熱と根気ですかね。根気がないと「こんなことも教えないといけないの？」というのがいつばいあるんですよ。でもそれは、絶対あきらめてはいけな



選手としてはもちろん、人間的な成長を選手らに期待する

——千葉県の高校野球のレベルをどうとらえていますか？
森 この春のセンバツで準備勝した習志野さんをはじめ、他のチームも強豪揃いで非常に高いと思っています。